

もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう

木造不動明王立像



■ 種別

有形文化財

彫刻

■ 指定年月日

昭和55年3月18日

■ 所有者・管理者

えんみょういん
円明院

(彦成1-179-1)

鎌倉時代の作と思われる一木造りの仏像で、
こうぎょうだいし
興教大師の作といわれています。材質はひのき材で眼は玉眼になっています。円明院は長江山聖伝寺と号し、千葉県流山市にある東福寺の末寺であり、寺領10石を有し、末寺13ヶ寺を支配した大寺でした。

像高87.5センチ/材質ひのき材